

## 第10回「伝える」と「伝わる」の違いとは

コミュニケーションが上手くいかないときはどんな状態なのでしょう？

「自分の気持ちが相手に伝わってない」状態であり、「相手の気持ちも自分に伝わっていない」状態ではないでしょうか。

私も例えば面接時において暗記してきた通り「上手な伝え方」を意識しすぎた結果、面接官に言いたいことが伝わらなかった経験をしてきました。

そこで学んだことは「上手な伝え方」の学習も大切だが、最も大切なのは伝え方よりも、「相手に伝わったか」という視点です。

「伝える」とは・・・。

自分の考えや誰かに言われたことを、一方的に他方へ受け渡す「行為」のこと。

主語は「自分」です。一方向のコミュニケーションのため、相手がそれをちゃんと受け取ったかどうかは関係ありません。

自分目線で話すため、相手に自分の伝えたい事が伝わらないことがよくあります。

例えば部下に自分の考えを延々と話し続ける行為などは、その状態です。

また、近年LINEやメールでのやり取りも「伝える」行為ですが、「伝わった」と錯覚してしまう人がもの凄く多いようです。

「伝わる」とは・・・。

自分の伝えたい事がきちんと相手に伝わっている（通じ合っている）「状態」のこと。

主語は「相手」です。一方的ではなく双方向のコミュニケーションのため、相手と通じ合っている状態です。

例えば「あの人との会話は気持ちがいいなあ〜。」と感じる相手がいた場合、その相手は自分の話す内容を相手目線で整理して話している可能性が高いと感じます。

「伝える」と「伝わる」は一文字違いですが、「発信者側の行為」と「受信者側の状態」が異なっているにも関わらず、「伝えたから伝わったはず！」と誤解されがちです。

コミュニケーションとは「伝える」ではなく「伝わる」こと。

最近コミュニケーションが上手くいかないと感じている人は、まず日々の会話や行動が「伝える」になっていないか、疑ってみる事をオススメします。